

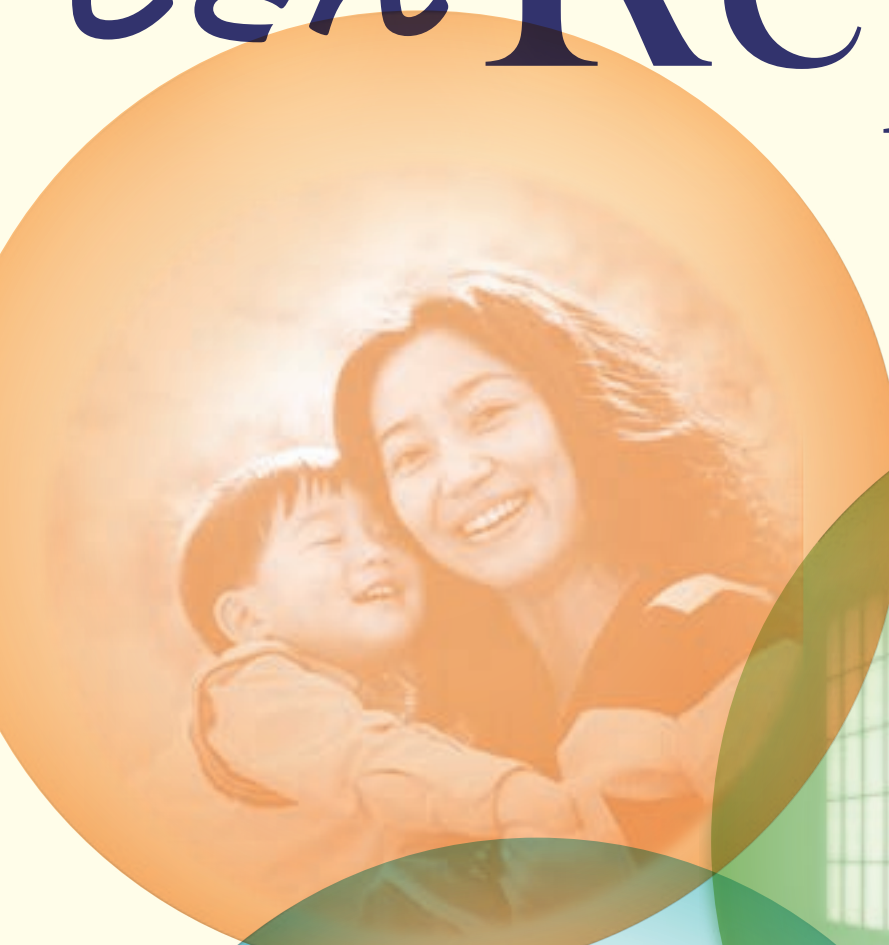
四国銀行と皆さまを結ぶ情報誌

しぎん Report

Just
Like
Family!

2019年9月期
ミニディスクロージャー誌

第206期中間 営業のご報告



Business

Region

Personal

3つの
コンサルティング機能
の発揮

お客さまの視点に立った コンサルティング機能を発揮し、 ベスト リライアブル・バンクの実現を目指します。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、当行ならびにグループ各社に対するご理解を皆さまに一層深めていただくため、私どもの取り組みについてご紹介させていただきたく、2019年9月期「しぎん Report」を発刊しましたので、お届けいたします。

超低金利政策の長期化、人口減少による国内市場の縮小、デジタル化による競争の激化など、地域金融機関を取り巻く経営環境は大きく変わっており、厳しさも増しております。

そのような変化に対応していくために、本年4月からスタートさせた中期経営計画では、「四銀のあたらしいビジネスモデルを確立する」ことを掲げ、初年度は以下の3つについて重点的に取り組んでおります。

1つ目は「四銀スタイルの確立に向け、一人ひとりの人財力を磨き上げる」です。お客さまに寄り添い、家族のように向き合う営業姿勢に加え、専門的なコンサルティング能力を発揮することにより、お客さまのお役に立ち喜んでいただけるような「四銀スタイル」確立に取り組んでまいります。

2つ目は「徹底的に構造改革を進める」です。業務の効率化と生産性向上に向けた取り組みを進めることで働きやすい環境を実現し、営業店を“おもてなしの場”としてご提供できるよう取り組んでおります。

3つ目は「お客さま本位のコンサルティング活動を強化し、地域やお客さまの成長・発展に貢献する」です。事業者の皆さま、個人のお客さま、そして地域を対象とした3つのコンサルティング機能を発揮することにより、事業者の皆さまの夢や課題解決、個人のお客さまのゆたかで便利なくらし、活力にあふれた地域社会の実現を目指してまいります。

「3つのコンサルティング機能の発揮」につきましては、4～7ページに掲載しておりますので、ご高覧いただけましたら幸いです。

また、当行は中期経営計画に掲げる施策を通じ、ESG(環境・社会・ガバナンス)に関する社会的課題の解決に積極的に取り組み、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献することにより、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

私ども四国銀行グループは、お客さま本位の質の高い金融サービスの提供に努め、地域の皆さまのご期待にお応えできるよう、役職員一丸となり、変化を恐れず挑戦する気概と実行力を持って一層の努力を重ねてまいります。引き続きのご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

取締役頭取 **山元 文明**



ESG・SDGsへの取り組み

当行は、「真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンク」の実現に向けて、地域金融機関としてのコンサルティング機能を発揮することで、お客さまの課題解決や地域の活性化に貢献し、それが当行の持続的な成長・発展へと繋がるビジネスモデルの確立を目指しております。

そのためには、社会のサステナビリティ(持続可能性)への貢献が不可欠であり、当行は、中期経営計画に掲げるさまざまな施策を通じ、ESG*(環境、社会、ガバナンス)に関する社会的課題の解決に積極的に取り組むとともに、国連が提唱するSDGs*(持続可能な開発目標)の達成に貢献してまいります。

* ESGとは

環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)という3分野の頭文字から取ったもので、近年、企業価値の向上を支える重要な要素として認識され、企業の経営戦略として取り組む企業が増加しています。

また、年金など長期資金を運用する機関投資家を中心に、ESGに関連した多面的な非財務情報を評価・分析して、持続的な企業価値の向上を実現している企業に選択投資する「ESG投資」が注目されています。



* SDGsとは

2015年9月の国連サミットで採択された、人間、地球および繁栄のための行動計画である「持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals」のことで、17のゴール、169のターゲットから構成され、2030年までの達成を目指す国際目標です。

SDGsは、発展途上国のみならず、先進国自身が関わるユニバーサル(普遍的)なものであり、日本国内においても政府、企業等の取り組みが積極化しております。



四国銀行のESG・SDGs ～持続可能な社会の実現に向けた取り組み～

ESG分類	方向性	従来からの取り組み	今後の取り組み	SDGsターゲット
環境 Environment	環境にかかる負荷を減らし、豊かな自然を守る	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型商品の提供「絆の森エコ債」等 環境保全活動「協働の森事業」等 地球温暖化対策・省エネ対応設備導入 	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革、業務効率化による消費エネルギー低減 ペーパーレス化の推進 	
社会 Social	従業員の自己実現や地域社会の発展に貢献し、当行および地域の持続可能性を高める	<ul style="list-style-type: none"> ファンドを活用した地域活性化 次世代経営者の育成 CSR活動支援商品の提供「学び応援債」等 ビジネスマッチング 災害対応融資枠の設定 セミナー等金融リテラシー向上への取り組み 四銀福祉基金による助成活動 地公体・他金融機関との連携協定 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人財が活躍できる環境整備 従業員の健康増進 従業員のエンゲージメントを高める施策の実施 長期・積立・分散による長期的な資産形成提案 地域産業活性化 新産業創出支援 経済活動効率化支援 四国創生への取り組み強化 	
ガバナンス Governance	適切なコーポレートガバナンスにより株主価値の最大化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 監査等委員会設置会社への移行 社外取締役比率向上 取締役会の多様性確保 法令順守・情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスの強化 コストの組織横断的マネジメント システムリスク管理の強化 	



ペーパーレス化の推進



当行は、環境保全や事務効率化等の観点からペーパーレス化を推進しています。
2023年3月までの4年間で、本部の印刷量を70%削減することを目標としています。

ペーパーレス化の効果

ペーパーレス化がもたらす効果のうち、第一に期待されるのがCO₂排出量の削減です。CO₂は焼却時だけでなく、紙を製造する過程でも大量に排出されます。また、紙の原材料には木材が使用されており、ペーパーレス化を推進することは資源使用量の削減にも繋がります。

環境への配慮

- 紙の廃棄、焼却量削減
- 紙の生産、焼却に伴うCO₂排出量や原材料の木材使用量を削減



事務効率化・事務リスク軽減

- データに基づいて業務を行うことで、紙から紙への転記や数値の確認業務を削減
- 紙資料の紛失、外部流出リスクを軽減

経費削減

- 紙の購入、印刷・コピー、保存にかかるコストやスペースを削減

四国銀行の取組み事例

1. 書類の削減・電子化

各種書類の必要性を再検討し、不要な書類の廃止や統合、電子化を進めることで紙の削減に努めています。これらの取組みは、紙の削減はもちろん、お客さまへのスピーディな対応や、記入の負担軽減にも繋がっています。



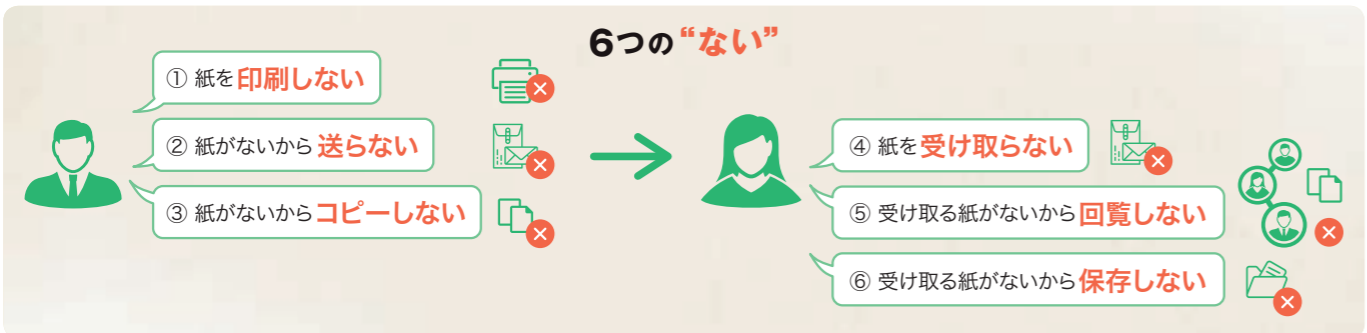
お客さまから通帳等をお預かりする場合、タブレットを使用



投資信託や保険の申込手続きを電子化

2. 行員一人ひとりの行動を徹底

行員一人ひとりが不要な紙を「印刷しない、送らない、コピーしない、受け取らない、回覧しない、保存しない」ことを徹底し、印刷に対する考え方を見直すことで、ペーパーレスへの意識を根付かせています。

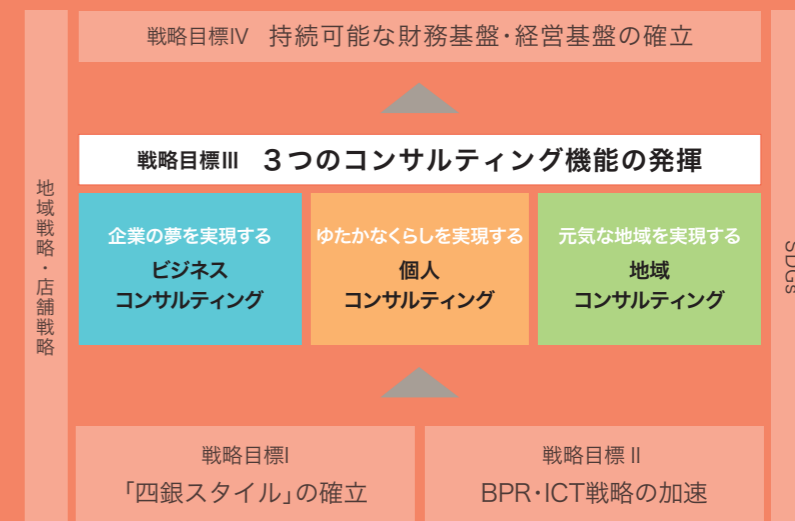


皆さまのお役に立つために 3つのコンサルティング機能の発揮

本年4月からスタートさせた中期経営計画では「3つのコンサルティング機能の発揮」を掲げており、事業者の皆さま、個人のお客さま、地域の3つを対象に、お客さま本位のコンサルティング機能の発揮に取り組んでおります。

当行は、対象先それぞれの課題やニーズに沿ったコンサルティング機能を発揮することで、事業者の皆さまの夢や課題解決、個人のお客さまのゆたかで便利なくらし、活力にあふれた地域社会を実現させ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2019年4月 ▶ 2023年3月 (4年間) 中期経営計画の体系図



ビジネス

事業性評価を軸としたビジネスコンサルティングにより、企業の夢や課題解決を実現します。

個人

お客さまに寄り添って提案する個人コンサルティングにより、ゆたかで便利なくらしを実現します。

地域

地域の将来にコミットする地域コンサルティングにより、活力にあふれた地域を実現します。



ビジネスコンサルティング

Consulting Case

企業のCSR・SDGs達成を支援

「学び応援債～未来への絆～」の活用

株 式会社フタガミは、高知県内で住宅事業やホームセンター事業、園芸事業など、多岐に亘る事業を展開するほか、高知県の森林率84%にちなんで「84プロジェクト」で高知県の森林資源の活用を推進しています。

当行は、同社の持続可能な事業性を評価するとともに、CSR(企業の社会的責任)・SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献する活動を支援するため、教育機関寄付型私募債「学び応援債～未来への絆～」の発行を引き受けました。

本商品は、当行が発行企業から受け取る手数料の一部で、図書やスポーツ用品等、子どもたちの成長に役立つ物品を購入し、地域の教

育機関に寄贈するものであり、お客さま・教育機関・当行が一体となって子どもの教育支援に貢献するものです。

当行は同社のご意向により、南国市立後免野田小学校に「食育活動」を応援するための菜園を寄贈しました。

児童の皆さんは野菜の苗植え、栽培、収穫、調理を行い、一連の体験を通して「食育」の大切さを学ぶことができました。このような企業活動は同社の経営理念である「心豊かな快適生活」に基づくものであり、SDGs達成に貢献するものでもあります。

当行は今後も本商品を通じて、CSRおよびSDGsの達成に取り組む企業を支援し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

①

手数料の一部で、小学校の7か所に「84ベッド」と命名された菜園を設置。



②

子どもたちが育てた10種類の野菜を収穫。



③

収穫した野菜でサラダを作り、子どもたちと社員の皆さんと一緒に味わいました。



COMMENT

子どもたちが健全な食生活を実践できるよう、地域の人たちと一緒に頑張って応援することで、地域社会に貢献してまいります。



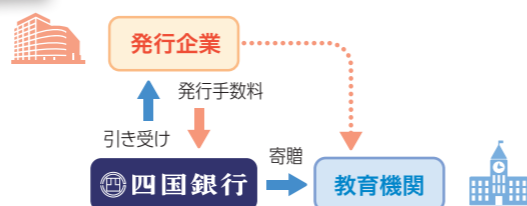
株式会社フタガミ 代表取締役会長 二神 昌彦氏

引受件数が100件を突破! 「学び応援債～未来への絆～」

2016年8月の取扱開始以来、たくさんのお客さまにご利用いただき、2019年8月末時点の引受件数は116件、教育機関への寄付総額は1,800万円となりました。

本商品を通じて地域の未来を担う子どもたちをサポートすることにより、発行企業のCSRおよびSDGsの達成に貢献しています。

寄贈先はお客さまのご意向を確認し、決定いたします。



当行が受け取る発行手数料の一部で、物品を購入して寄贈します。

個人コンサルティング

Consulting Case

ライフプランをしっかりと考えるお手伝い

当行は、お客さまのライフプランにあわせて様々な商品・サービスをご提案することで、お客さまのゆたかで便利なくらしの実現に向けて取り組んでおります。



新生活を応援

- >>> **総合口座**
普通預金・貯蓄預金・定期預金が1冊の通帳にセット。お給料の受取口座や、各種料金の引落口座としてもご利用いただけます。
- >>> **積立定期預金(あゆみ)**
普通預金からの自動振替で、目的に向けて計画的に積立ができます。
- >>> **インターネット・モバイルバンキング**
スマホ、パソコンを利用して、ご自宅や外出先でも残高照会やお振込が24時間可能な便利なサービスです。



ご家族の夢の実現をサポート

- >>> **積立投信**
預金口座から自動的に一定額を振替し、投資信託を購入するサービスです。
- >>> **少額投資非課税制度(NISA)**
日本にお住まいの20歳以上のお客さまが株式投資信託等について毎年120万円、5年で最大600万円までの非課税枠を利用できる制度です。
- >>> **フリーローン**
お使い道は自由! 旅行や結婚など様々な目的にあわせて利用できるローンです。
- >>> **住宅ローン**
住宅の取得、他の金融機関からのお借換えに利用できます。
- >>> **リフォームローン**
家族が増えた時などの増改築に利用できます。
- >>> **教育積立定期預金(エール)**
金利上乘せタイプの積立定期預金です。
- >>> **医療・がん保険**
入院費用や手術費用を保障します。

進学・就職

結婚

マイホーム

教育

セカンドライフ

相続・贈与

ゆとりあるセカンドライフをお手伝い

- >>> 〈四銀〉ハッピーセレクト(資産運用プラン)
- >>> 〈四銀〉ハッピープラススペシャル
- >>> 個人年金保険
- >>> 投資信託
- >>> 〈四銀〉年金定期預金
- >>> 外貨定期預金
- >>> 金融商品仲介業務商品



真心を遺すお手伝い

- >>> 一時払終身保険
- >>> 〈四銀〉教育資金贈与専用口座(想いのかたち)
- >>> 遺言信託・遺産整理業務・民事信託コンサルティング



地域コンサルティング

Consulting Case

老舗観光ホテルをリゾートホテルへ 「しぎん地域活性化ファンド」の活用

当行は、雇用維持と地域の観光振興を目的として、皇室がご来館されたことでも知られる老舗観光ホテル「足摺パシフィックホテル花椿」の事業承継を支援しました。

当行は、政府系金融機関と連携した資金協力スキームを構築し、2019年9月に「土佐清水リゾート合同会社」に対し、融資並びに「しぎん地域活性化ファンド」を通じた投資を実行したほか、地方公共団体や県内事業者とのマッチング等を行い、円滑な事業承継に向けた支援を行いました。

土佐清水リゾート合同会社は、東京や京都などで宿泊施設運営や旅館再生事業を手掛ける株式会社Catalystのグループ企業です。

当ホテルは、Catalystグループが有する宿泊施設運営ノウハウにより、テラスカフェなど太平洋を一望するオーシャンビューを活かしたハード整備や、豊かな地域の食資源を追求した料理の磨き上げ、地域の観光施設との連携などを通じて、リゾートをコンセプトとしたホテル運営を目指し、外国人観光客や若年層を中心とした「新しい客層」も取り込んでいく予定です。



太平洋を一望。
夜は満天の星空を望めます。



露天風呂付をはじめ様々なお部屋があります。



Consulting Case

老舗料亭の調味料をご家庭に

クラウドファンディングによる資金募集

数寄屋造りの建物である大広間は国の登録有形文化財に指定されており、お食事を取りながら歴史ある景観や庭園を楽しむことができます。



当行は、インターネット上で一般の消費者から資金を集めるクラウドファンディングの活用により、地域資源を活用した商品・サービスを提供する事業者を支援し、地域の魅力を全国にお伝えしています。

本プロジェクトは、高知の老舗料亭「得月楼」が2020年に創業150周年を迎えるにあたり、当料亭の三種の神器である「特製土佐醤油」、「秘伝のぼん酢」、「名物鯛だしそうめんつゆ」を多くのご家庭で味わっていただき、歴史ある当料亭にお越しいただききっかけをつくりたいという想いからスタートしました。

目標金額を上回る支援があり、支援金は当料亭のホームページのリニューアル費などに充てられ、更なるPRに繋げることができました。



コンプライアンス体制

当行では、コンプライアンス(法令等遵守)を経営の最重要課題の一つとして位置付け、全行的なコンプライアンス体制を構築し、法令および行内諸規定を遵守した業務遂行ならびに社会規範を踏まえた誠実かつ公正な企業活動の実践に取り組んでおります。

「マネロン・テロ資金対策室」の設置

マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策に関する国際的な目線が急速に高まりを見せる中、2019年秋に第4次FATF対日相互審査[※]が実施されることを受け、当行は2018年11月に総合管理部内に「マネロン・テロ資金対策室」を設置しました。

本対策室の設置により、事務統括部と市場金融部に分掌していたマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策に関する業務を総合管理部が一元管理することで、実効的な管理体制を構築しました。

当行は本対策室の設置をきっかけとし、当行グループ全体でマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策を強化してまいります。

※ FATF：マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策等について国際的な協調指導や協力推進を行う政府間機関。

FATF対日相互審査：金融機関等に対し実施されるマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策の有効性に関するオンサイト審査。審査対象先の評価が日本全体の評価に直結するため、低評価となった場合、日本の信用失墜に繋がる可能性がある。

従前

総合管理部、事務統括部、市場金融部の3部署に分掌。

● 総合管理部 ●

コンプライアンス室
コンプライアンス全般

● 事務統括部 ●

金融犯罪対策室
マネー・ローンダリング、
テロ資金供与対策
(主に国内)

● 市場金融部 ●

マネー・ローンダリング、
テロ資金供与対策
(主に海外)

2018年11月以降

総合管理部内に「マネロン・テロ資金対策室」を設置し、同部が一元管理。

● 総合管理部 ●

【新設】
マネロン・テロ資金対策室



マネー・ローンダリング、
テロ資金供与対策

コンプライアンス室



コンプライアンス全般

連携
(主に国内事務)

● 事務統括部 ●

連携
(主に外為事務)

● 市場金融部 ●

四国アライアンス NEWS

四国の地方銀行4行(当行、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行)による包括提携である四国アライアンスでは、「興す」「活かす」「繋げる」「育む」「協働する」をテーマに、様々な取り組みを行ってきました。今後も四国創生に向けて4行で力をあわせて取り組んでまいります。



Shikoku Alliance News 2019



販路拡大を支援する 取り組み

四国地区 ハイウェイ大商談会

2019年7月

NEXCO西日本と連携し、四国および近隣のサービスエリアを運営するテナント22社と、販路を拡大したいお客さま73社を対象に「四国地区 ハイウェイ大商談会」を開催しました。



インドネシアビジネスマッチング セミナー&相談会

2019年8月

東南アジアへの進出や販路拡大を検討されている飲食業および食品関連のお客さまを対象に、インドネシアでビジネスを展開している日本人経営者を講師にお招きし、現地のマーケット情報等についての講演および相談会を開催しました。



第10回ネットワーク商談会 IN大阪(共催)

2019年10月

全国の地域金融機関10行と共同で、地域の特産物等を使った水産加工品や乾物などの食材・食品を取扱うお客さまと関西圏を中心としたスーパー、百貨店などをマッチングする商談会を開催しました。



お客さまの経営課題を解決する 取り組み

産業振興セミナー ～ITを活用した生産性向上～

2019年5月

ITを活用してお客さまの生産性向上に役立てていただくことを目的に、四国4県で「産業振興セミナー」を開催しました。セミナーでは、IT導入補助金制度やデジタル技術を活用した課題解決事例の紹介など、お客さまの生産性向上に役立つ情報を提供しました。



BCP策定セミナー

2019年7月

自然災害や緊急事態に備え、BCP(事業継続計画)の策定を検討しているお客さまを対象に四国4県で「BCP策定セミナー」を開催しました。

セミナーでは、専門家の指導を受けながら、実際に自社で活用するためのBCPを策定いただきました。



その他、さまざまな施策を通じて「**四国創生**」に取り組んでいます!

- 「カードで巡る!おトクな四国キャンペーン」実施(4月～9月)
- 「VISIT JAPAN Travel Mart 2019 -EAST ASIA-」へのブース出展(6月)
- 4行シンクタンクによる「新時代における遍路受入態勢のあり方～遍路宿泊施設の現状・課題等調査～」報告書発行(6月)
- 四国アライアンスでのビジネスマッチングAI活用実証実験開始(6月～)
- 合同研修会(次世代リーダー・女性リーダー)開催(7月～12月)



Reihoku

嶺北

自然の楽しさをダイレクトに感じられる嶺北エリア。雄大な景色や吉野川でのスリリングな川下りをはじめ、森林のぬくもりや、吉野川の恵みを感じられるスポットが満載。大切な仲間と一緒に自然とたわむれよう。

モンベル アウトドアヴィレッジ本山

長岡郡本山町本山2133-1 0887-72-9670



2019年7月にグランドオープンした、モンベル監修の新たなアウトドア拠点施設。自然をフィールドにしたアクティビティ、ゆったりとくつろげる温浴施設、地元グルメも味わえるレストランなど、吉野川を望むヴィラで嶺北を満喫しよう！

ゆとりすとパーク おおとよ

長岡郡大豊町中村大王4037-25 0887-72-0700



標高750mに位置し、四国山地の雄大な山並みを大パノラマで一望でき、季節によって早朝には壮大な雲海が眼下に広がります。夜には満天の星空が降り注ぎ、自然との一体感に感動！山を下れば国の天然記念物に指定されている推定樹齢3000年の巨木「杉の大スギ」を見ることができます。



～自然 & 体験キャンペーン～
2019/2/1-2020/12/31(予定)

Monobegawa

物部川

海や山の自然がいっぱいの物部川エリアは、歴史と神秘が溢れる香美市、アクティビティが楽しめる香南市、いろいろな体験が満載の南国市など、遊びに学びにグルメに、家族みんなで楽しめるスポットが盛りだくさん。



西島園芸団地

南国市廿枝600 088-863-3167



1本の木に1個の実だけをつける高品質のメロン・スイカが一年中食べられるほか、自家栽培のフルーツをたっぷり使ったパンケーキなどオリジナルスイーツも味わえます。色とりどりに咲き乱れる花々に囲まれ楽園ムードにひたりませんか？
栽培ハウスも見学できます！

龍河洞

香美市土佐山田町逆川1424 0887-53-2144 (龍河洞保存会)



総延長約4kmの石灰岩の鍾乳洞は、1億7500万年前の歳月が作り上げた、まさに自然の芸術。ヘルメットにヘッドランプなどの探検スタイルで挑む冒険コースも人気。2019年夏には、幻想的な光と音の演出のプロジェクションマッピングなど新たな魅力も加わってニューオープン！

観る・
感じる・こころ 飲む

かん 高知

高知の
自然&体験

嶺北エリア



高知県立牧野植物園

高知市五台山4200-6 088-882-2601



高知県出身の世界的植物学者・牧野富太郎博士の偉業を顕彰する植物園には3000種類以上の植物があり、自然の中で植物に出会う喜びを感じられます。2019年春には、太平洋まで見渡せる眺望抜群の「こんこん山広場」と植物を五感で楽しめる「ふむふむ広場」が登場。さらに植物の世界をVRで体感できるシアターも必見。

Kochi City

高知市

高知県の真ん中で高知の文化を発信し続けている高知市エリア。高知の神髄を楽しめるスポットが盛りだくさん。陽気でウェルカムな地元の人々や深い歴史に触れよう。



財務ハイライト

2019年度中間期の実質業務純益は、役員取引等利益やその他業務利益は増加し経費も減少しましたが、資金利益が減少し、前年同期比11億円減少の32億円となりました。

経常利益は、実質与信関係費用が前年同期と同程度の2億円のマイナスとなりましたが、株式等関係損益が減少し、前年同期比16億円減少の43億円、中間純利益は、同9億円減少の34億円となりました。

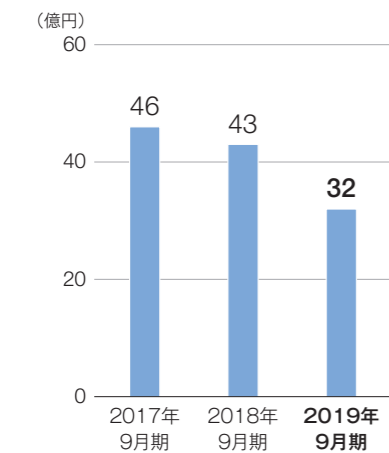
預金等残高は、個人預金・法人預金等がそれぞれ減少し、前年同期末比872億円減少の2兆6,392億円となりました。貸出金は、中小企業向け・個人向け融資を積極的に推進しました結果、個人を含む中小企業等貸出金、中堅・大企業・地方公共団体向け貸出金がそれぞれ増加し、前年同期末比593億円増加の1兆7,542億円となりました。

自己資本比率は9.25%であり、国内基準行に求められる4%以上の基準を上回っております。

<単体情報>

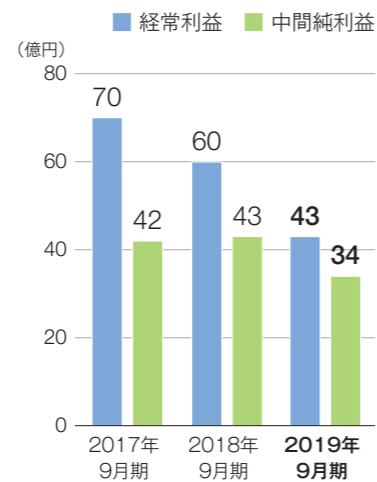
■実質業務純益

32億円



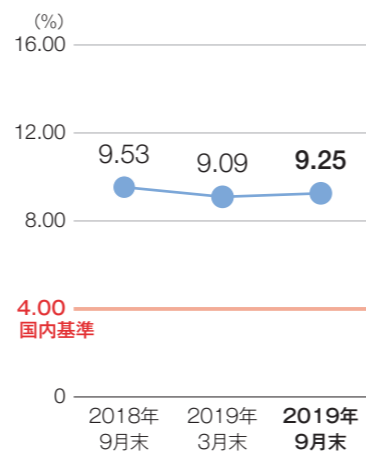
■経常利益／中間純利益

43億円／34億円



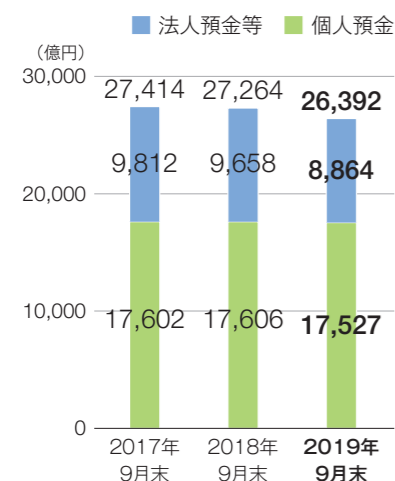
■自己資本比率

9.25%



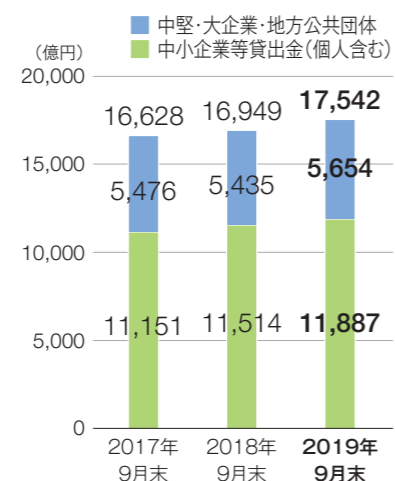
■預金等残高 (譲渡性預金含む)

2兆6,392億円



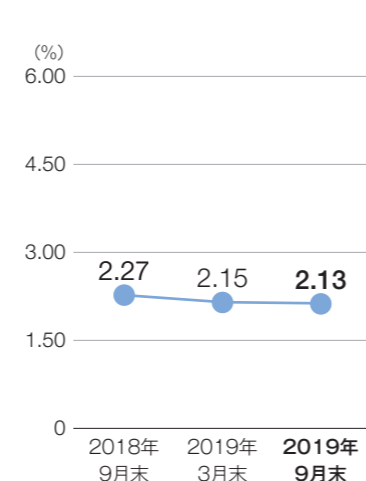
■貸出金残高

1兆7,542億円



■不良債権比率

2.13%



株主の皆さまへ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間といたします。
配当のお支払	期末配当は、毎年3月31日を基準日とし、定時株主総会終了後ご指定の方法によりお支払いいたします。中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とし、取締役会の決議によってご指定の方法によりお支払いいたします。
基準日	定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告のうえ定めます。
公告方法 (電子公告)	当行の公告は、ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、高知新聞および日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	<ul style="list-style-type: none"> みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

株主の皆さまに感謝をこめて

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えしたい。
当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当行株式を保有していただきたい。
そういった思いから、当行では株主優待制度を実施しております。

100株以上1,000株未満の株式を保有される株主さま

コンビニエンスストア等でご利用いただける全国共通の商品券「クオ・カード」を贈呈いたします。

- 100株以上200株未満 : 500円分 (2018年度から新たに追加)
- 200株以上1,000株未満 : 1,500円分

1,000株以上の株式を保有される株主さま

地元の特産品を中心に掲載しました専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの商品をお選びいただけます。

- 1,000株以上2,000株未満 : 3,000円相当
- 2,000株以上 : 6,000円相当



ちりめん丼



カツオのたたき



四万十うなぎ

※画像はイメージです

● 2020年度は、2020年3月31日現在の株主名簿に記載された当行株式を100株 (1単元) 以上保有されている株主さまを対象とさせていただきます。



しぎん 四銀の よさこい踊り 2019

四国4県のお祭りを表現 「花咲く四銀祭時記」

第66回「よさこい祭り」が8月9日から12日に高知市で開催され、65回目となる四国銀行も4日間参加いたしました。今年には「花咲く四銀祭時記」をテーマに、楽曲・振付に、高知のよさこい節、徳島の阿波おどり、香川県の金毘羅船々、愛媛の松山まつり（野球拳）といった四国4県の代表的なお祭りや民謡を盛り込みました。



高知のよさこい祭り、東京のスーパーよさこいでともに受賞

当行チームは、地域の皆さまから温かいご声援をいただき、2年連続で「地区競演場連合会奨励賞」を受賞しました。また、8月24日から25日に東京で開催された「原宿表参道元氣祭スーパーよさこい2019」では、当行初の「感動賞」を受賞しました。当行は今後も地域のイベントに積極的に参加することにより、地域の皆さまに元気と笑顔をお届けし、地域活性化に貢献してまいります。引き続きご声援の程よろしくお願い申し上げます。